

教科	算数	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 大きい数のしくみ	7	・億、兆の位の数の読み方、表し方、十進位取り記数法の仕組みの理解を深め、大きな数の構成や相対的な大きさを理解するとともに、（3位数）×（3位数）のかけ算ができるようにし、用語「和」「差」「積」「商」を知る。 ・まとまりに目を付け、大きな数の表し方や比べ方、かけ算の計算の仕方を考える力を身に付ける。 ・既習事項を基にして、大きな数の表し方や構成を調べたり、計算の仕方を考えたりしようとする態度を養う。	・億の位の数の読み方、表し方、数の構成と位取り、相対的な大きさが分かり、読んだり書いたりできる。（知識・技能） ・兆の位の数の読み方、表し方、数の構成と位取り、相対的な大きさが分かり、読んだり書いたりできる。（知識・技能） ・10倍、1／10の大きさの数の表し方が分かる。（知識）	・千万までの既習事項を基にして、億の位の数の仕組みや表し方を考え、表現できる。 ・千億までの既習事項を基にして、兆の位の数の仕組みや表し方を考え、表現できる。 ・大きな数の仕組みを基にして、10倍、1／10の大きさの数の表し方を考え、表現できる。	・既習事項を基にして、大きな数の表し方や仕組み、10倍、1／10の大きさの数の表し方などを考えたり、表現したりしようとしている。
2.折れ線グラフと表	9	・折れ線グラフの用いられる場面を知り、変化の特徴を読み取ったり、かいたりすることができるとともに、資料を2つの観点から落ちや重なりなく分類整理し、それを二次元表にまとめ、特徴を調べることができる。	・折れ線グラフを用いる場面と、読み方が分かる。（知識） ・折れ線グラフから変化の様子を読み取ることができる。（技能）	・折れ線グラフを見て、変化の様子を判断したり、変化の違いを比べたりして、それを表現できる。	・折れ線グラフに関心を持ち、身の回りで用いられている場合を見つけたり、読み取ったりしようとしている。

3. わり算の筆算（1）	11	・（2位数，3位数）÷（1位数）の筆算の仕方，（2位数）÷（1位数）や（3位数）÷（1位数）の暗算の仕方を理解し，計算できる。 ・既習事項を基にして（2位数，3位数）÷（1位数）の筆算の仕方や，（2位数）÷（1位数）や（3位数）÷（1位数）の暗算の仕方を考える力を身に付ける。 ・既習事項を基にして，計算の仕方を考え，説明しようとする態度を養う。	・商が何十や何百になるわり算の計算の仕方を理解し，計算できる。（知識・技能）	・商が何十や何百になるわり算の計算の仕方を考え，説明できる。	・商が何十・何百になるわり算，（2位数）÷（1位数），（3位数）÷（1位数）の筆算を進んで練習して習得し，生活や学習の中で生かそうとしている。
4. 角の大きさ	9	・角の大きさは回転の大きさと捉えられること，角の単位（度$^{\circ}$），直角，回転）を知り，分度器を用いて角の大きさを測ったりかいたりできるとともに，三角定規の3つの角の大きさを調べたり，定規と分度器を用いて三角形を作図したりできる。 ・図形の角の大きさに目を付け，角の大きさを様々に表現したり，図形のことを調べたりする力を身に付ける。 ・角に関心をもち，生活や学習の中で身の回りの角の大きさを測ったり，かいたりしようとする態度を養う。	・角の意味，単位（度$^{\circ}$），直角，回転）の関係，角の表し方が分かる。（知識） ・分度器の仕組みや，分度器を用いた角の測り方が分かり，測ることができる。（知識・技能） ・180°より大きな角の測り方が分かり，測ることができる。（知識・技能） ・三角定規の3つの角の大きさが分かる。（知識）	・長さなどの既習事項を基にして，角の大きさの測り方を考え，測り，表現できる。 ・180°より大きな角の測り方を考え，測り，表現できる。	・分度器の使い方を身に付け，生活や学習の中で角を測定しようとしている。

5. 小数のしくみ	13	・1/100の位（小数第2位），1/1000の位（小数第3位）の小数の表し方，読み方，相対的な大きさが分かり，小数が整数と同じように十進位取り記数法の仕組みになっていることが分かるとともに，小数のたし算とひき算の仕方が分かり計算できる。 ・既習事項を活用して，小数の表し方，たし算やひき算の仕方を考える力を身に付ける。 ・小数の表し方や計算の仕方を習得し，生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。	・小数が十進位取り記数法で表されていることが分かり，1/1000の位までの小数の表し方，読み方が分かる。（知識） ・1/1000の位までの小数が表せ，読むことができる。（技能） ・小数の大小や相対的な大きさが分かり，数直線上に表したり，大小を比べたりできる。（知識・技能）	・既習事項を基にして，0.1より小さい数の表し方を考え，表し，説明できる。 ・小数の大小の比べ方を考え，比べ，説明できる。	・既習事項を基にして，1/1000の位までの小数の仕組みについて調べ，小数を生活や学習の中で生かそうとしている。
6. わり算の筆算（2）	14	・（何十，何百何十）÷（何十），（2位数，3位数）÷（2位数）のわり算の計算の仕方及び仮商の見つけ方と修正の仕方が分かり，筆算でできるとともに，わり算のきまり（被除数と除数に同じ数をかけても，同じ数でわっても商の大きさは変わらない）を理解し，末位に0のあるわり算を工夫して計算できる。 ・既習事項を基にして，わり算の計算の仕方を考え，計算を工夫する力を身に付ける。 ・わり算の筆算に習熟し，生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。	・（何十，何百何十）÷（何十）のわり算の仕方が分かり，計算できる。（知識・技能）	・10を単位にして，（何十，何百何十）÷（何十）のわり算の仕方を考え，計算し，説明できる。	・既習事項を活用して，（何十，何百何十）÷（何十），（2位数）÷（2位数），（3位数）÷（2位数）の計算の仕方を考え，問題の解決に活用しようとしている。

7. がい数の使い方と表し方		・概数の意味と用いられる場面、概数（四捨五入、切り上げ、切り捨て）の求め方、以下、以上、未満の意味を理解し、概数を求め目的に応じて用いるとともに、概数を用いた計算ができる。 ・目的に合った概数の処理の仕方を考え、生活や学習に活用する力を身に付ける。 ・概数を生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。	・概数の意味や用いられる場合や、四捨五入による概数の求め方が分かり、求めることができる。（知識・技能） ・以上、以下、未満の意味が分かり、これらを使って概数の範囲を表すことができる。（知識・技能）	・概数の用いられる場面や、概数の求め方を考え、求め、説明できる。	・概数のよさが分かり、概数の求め方を身に付け、生活や学習の中で概数を活用しようとしている。
8. 計算のきまり	8	・（ ）を用いた式や四則混合の式の意味や計算の仕方を理解し、その計算ができるとともに、計算のきまり（交換法則、結合法則、分配法則）を理解し、それを用いて計算の工夫ができる。 ・（ ）を用いた式や四則混合の式の計算の仕方を考えたり、計算のきまりを調べたり、きまりを用いて計算の工夫をしたりする力を身に付ける。 ・（ ）や計算のきまりを使って、1つの式に表したり、計算の工夫に生かしたりしようとする態度を養う。	・（ ）を用いた式や四則混合の式の意味と表し方、計算の仕方が分かる。（知識） ・（ ）を用いて1つの式に表し、計算ができる。（技能） ・四則混合の式に表し、計算ができる。（技能）	・日常事象と対応させて、（ ）や四則を混合して1つの式に表す仕方を考え、表現できる。 ・（ ）や四則を混合した式の計算の仕方を考え、計算し、説明できる。	・1つの式に表すよさが分かり、計算のきまりを使って問題の解決や計算の工夫に活用しようとしている。
9. 垂直、平行と四角形	13	・直線の垂直と平行の意味と性質を理解させ、見つけたり、位置関係を調べたり、作図ができるようにするとともに、平行四辺形や台形、ひし形の意味と性質、対角線について理解させ、作図ができるようにする。 ・平行四辺形など図形の構成要素や位置関係に目を付け、かき方を考え、性質を調べ、既習の図形を捉え直す力を身に付ける。 ・垂直や平行に着目して、身の回りから見つけたり、四角形の特徴を調べたりしようとする態度を養う。	・垂直や平行の意味や性質が分かり、見つけることができる。（知識・技能） ・垂直や平行の作図の仕方が分かり、作図ができる。（知識・技能）	・垂直や平行の意味に照らして、平行や垂直を見つけ、判断し、説明できる。 ・垂直や平行の意味に照らして、平行や垂直の作図の仕方を考え、作図し、説明できる。	・生活や学習の中で、垂直や平行を見つけたり、作図したりして活用しようとしている。

10. 分数	9	・真分数、仮分数、帯分数の意味と表し方、仮分数と帯分数の相互関係、分数の相等と大小関係を理解するとともに、同分母分数のたし算とひき算の仕方が分かり、計算できるようにする。 ・既習事項を活用して、仮分数と帯分数の相互関係や分数の相等と大小関係、同分母分数のたし算やひき算の仕方を考える力を身に付ける。 ・分数の表し方とたし算やひき算を身に付け、生活や学習の中で生かそうとする態度を養う。	・真分数、仮分数、帯分数の意味と表し方が分かり、数量の大きさを真分数、仮分数、帯分数で表すことができる。（知識・技能） ・分数の大小の比べ方が分かり、比べることができる。（知識・技能） ・仮分数と帯分数の関係が分かり、仮分数（帯分数）を帯分数（仮分数）に直すことができる。（知識・技能）	・既習事項や図、数直線を基にして、1より大きい分数の表し方を考え、表現できる。 ・図、数直線を基にして、分数の大小の比べ方を考え、比べ、説明できる。	・生活や学習の中で、分数の大きさや関係を調べたり、数量を分数で表したり、同じ大きさの分数を探したり、表したりしようとしている。
11. 変わり方調べ	4	・伴って変わる2つの数量を見つけ、表を用いてそれらの対応や変化のきまりを調べ、それを式に表したり、式を読んだりすることができるとともに、伴って変わる2つの数量の関係を□や○などを用いて式に表したりすることができる。 ・伴って変わる2つの量の関係を、表や式を用いて変化や対応のきまりを見つける力を身に付ける。 ・伴って変わる2つの数量を見つけ、対応や変化のきまりを見つけ、表現し、問題の解決に活用しようとする態度を養う。	・伴って変わる2つの数量の関係について、表を用いた調べ方や、式の表し方が分かる。（知識） ・伴って変わる2つの数量の関係を式に表すことができる。（技能） ・伴って変わる2つの数量の関係を式（□+○=10など）やグラフに表す仕方が分かる。（知識） ・伴って変わる2つの数量の関係を式やグラフに表すことができる。（技能）	・伴って変わる2つの数量を見つけ、その関係を考え、表現できる。	・伴って変わる2つの数量に関心を持ち、生活の中から見つけ、その関係を式に表そうとしている。

12. 面積のはかり方と表し方	11	・面積の意味と単位 (cm^2, m^2, km^2, a, ha) とその関係、面積の表し方を理解させるとともに、面積が計算で求められること及び長方形や正方形の面積の求め方を公式にまとめ、活用できるようにする。 ・面積の単位の関係を調べたり、計算による面積の求め方を考えたりする力を身に付ける。 ・面積の単位を対象や目的によって使い分け、公式のよさに気づき、公式を使って面積を求めようとする態度を養う。	・面積の意味と単位 (cm^2) , 表し方が分かる。(知識) ・面積を、単位 (cm^2) を用いて表すことができる。(技能)	・長さやかさの学習を基にして、面積の比べ方や表し方を考え、説明できる。	・身近なものの面積に関心を持ち、比べたり、表したりしようとしている。
13. 小数のかけ算とわり算	15	・小数に整数をかけるかけ算、小数を整数でわるわり算の意味を理解し、筆算で計算できるとともに、小数倍の意味を理解し求めることができる。 ・既習事項を活用して小数に整数をかけるかけ算と小数を整数でわるわり算の計算の仕方を考えたり、小数倍の求め方を考えたりする力を身に付ける。 ・既習事項を活用して計算の仕方を考え、計算を生活や学習の中で生かそうとする態度を養う。	・1/100の位までの小数に整数をかけるかけ算の意味、立式、計算の仕方、筆算の仕方が分かる。(知識) ・1/100の位までの小数×整数の筆算ができる。(技能)	・既習事項を基にして、小数×整数の計算の仕方を考え、計算し、説明できる。	・小数×整数、小数÷整数の計算を練習して習得し、問題解決に活用しようとしている。

14. 直方体と立方体	9	・直方体や立方体の意味、性質、辺や面の位置関係、展開図や見取図の見方やかき方が理解できるとともに、平面上や空間にある点の位置の表し方が理解でき表すことができる。 ・直方体や立方体の辺や面の位置関係、展開図や見取図の見方やかき方、平面上や空間にある点の位置の表し方を考える力を身に付ける。 ・直方体や立方体の辺と面の位置関係、展開図や見取図、平面上や空間にある点の位置の表し方などを、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。	・直方体と立方体の意味と性質が分かり、弁別ができる。（知識・技能） ・立体と平面の意味が分かる。（知識） ・直方体の辺や面の位置関係が分かり、見つけることができる。（知識・技能）	直方体と立方体の構成要素に目を付け、特徴を調べ、説明できる。 ・直方体の辺や面の位置関係を調べ、説明できる。	・身の回りにある立体に関心を持ち、直方体や立方体を見つけたり、特徴を調べたりしようとしている。
-------------	---	---	---	---	---